

名古屋市見晴台考古資料館 **年報** 43

令和7（2025）年度事業報告

2026

名古屋市見晴台考古資料館

令和7（2025）年度

I 事業概要

1 展示

（1）本館常設展

「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：見晴台遺跡について詳しく知ることができるよう、見晴台の歴史を、時代を追って紹介。見晴台で暮らした人々をテーマに、主に衣食住に関する出土品を展示。昭和時代では、笠寺高射砲陣地から見つかったアメリカ軍爆撃機 B29 のジュラルミン破片も展示。また、見晴台遺跡第55・56・57次発掘調査で出土した遺物も展示。

展示点数：155点



「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」展示風景

（2）住居跡観察舎パネル展「原始・古代の住居」

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：原始・古代の建物である竪穴住居や高床倉庫、祭殿などについて、床（生活面）を持ち上げる高床式と、そうではない竪穴式（平地式）の2通りに分けて紹介。それぞれの様式の利点はどこにあるのか、現在見ることができる建物からアプローチした展示。



パネル展「原始・古代の住居」展示風景

（3）住居跡観察舎パネル展

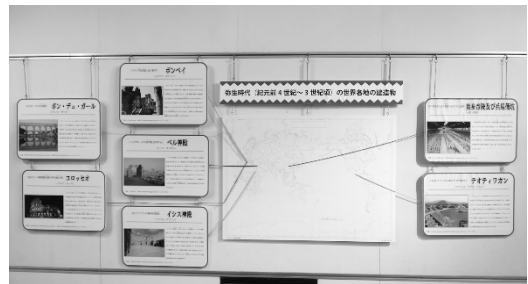
「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：見晴台に竪穴住居が造られた弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物をパネルで紹介。



パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」展示風景

（4）本館第1回企画展「じょーもん・弥生にコーフン時代」展

会期：令和7年3月29日（土）～6月22日（日）

展示日数：72日

利用者数：6,694人

内容：名古屋市内で出土した縄文時代の土器・石器・骨角器、弥生時代の土器・石器・青銅器、古墳時代の土器・須恵器・埴輪などを展示。

展示点数：68点

（5）本館第2回企画展「SDGs 遺跡から自然との共存・平和の大切さを学ぼう」展

会期：6月29日（日）～9月15日（月/祝）

展示日数：67日

利用者数：3,839人

内容：縄文時代・江戸時代の暮らしと文化や、名古屋市内の戦争の痕跡を出土遺物から紹介。

展示点数：92点

（6）本館第3回企画展「時間旅行 なごや2万年」展

会期：9月21日（日）～令和8（2026）年1月18日（日）

展示日数：96日

利用者数：8,016人

内容：市内で発掘された考古資料のうち、旧石器時代か

ら近世までの優品、希少品を展示。

展示点数：52点

（7）本館第4回企画展「2万年、人が暮らすまち～中区～」展

会期：令和8年1月25日（日）～3月22日（日）

展示日数：48日

利用者数：5,116人

内容：中区にある9つの遺跡から出土した考古資料から、人々が住みやすかった理由を考える展示。

展示点数：66点

（8）本館ロビー展「天白区の石器」展

会期：令和7年3月29日（土）～1月9日（金）

展示日数：302日

利用者数：25,418人

内容：天白区の花白公園・相生山緑地で採集された石器や原石（自然石）を展示。

展示点数：104点

※本展示は1月10日（土）～3月31日（火）まで映像展示室で継続して展示。展示日数や利用者数は会期全体のものを提示。

（9）本館ロビー展「南区の遺跡分布図とハザードマップ」展

会期：令和7年3月29日（土）～6月22日（日）

展示日数：72日

利用者数：6,694人

内容：南区の遺跡分布図とハザードマップを比べることで、昔の人がどこに住んでいたかを確かめ、防災について考えてもらう展示。

展示点数：パネル5点

（10）本館ロビー展「平和の大切さを学ぼう」展

会期：6月29日（日）～12月28日（日）

展示日数：154日

利用者数：11,210人

内容：平和の大切さを学べるような、戦争遺跡のパネルを展示。

展示点数：パネル20点

（11）本館ロビー展「名古屋城三の丸遺跡 ―スピリチュアルな異世界―」展

会期：6月29日（日）～12月28日（日）

展示日数：154日

利用者数：11,210人

内容：名古屋城の三の丸の一角にある、天王社・東照宮・徳川将軍家霊廟を展示することで、名古屋城のもつスピリチュアル（精神・宗教）な世界を紹介。

展示点数：14点



ロビー展「名古屋城三の丸遺跡 ―スピリチュアルな異世界―」展 展示風景

（12）本館ロビー展「癒しの土人形」展

会期：令和8年1月10日（土）～3月31日（火）

展示日数：67日

利用者数：6,989人

内容：発掘調査で出土した明治32年（1899）の刻書をもつ土人形の型と、近世から近代の土人形を紹介。

展示点数：土人形の型16点、製品13点

（13）本館ロビー展 企画展関連「2万年、ひとが暮らすまち～中区～」展

会期：令和8年2月15日（日）～3月22日（日）

展示日数：31日

利用者数：3,982人

内容：第4回企画展に関連した写真パネルを掲示。

展示点数：パネル10点

（14）本館ロビー展「梅まつり 特別陳列」

会期：令和8年2月28日（土）～3月1日（日）

展示日数：2日

利用者数：1,569人

内容：見晴台考古資料館梅まつり（2月28日・3月1日）にあわせて、「四頭石斧」と「洲浜菊花双雀鏡」を展示。

展示点数：2点

（15）本館映像展示室展「大曲輪人のご近所さん」展

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：パンフレット「大曲輪貝塚縄文図鑑」刊行にあわせ、名古屋市内で出土した縄文時代の土器・石器・骨角器を展示。

展示点数：9点

※「大曲輪貝塚縄文図鑑」は名古屋市教育委員会発行

(16) 本館映像展示室展「桜神明社古墳の埴輪」展

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：桜神明社古墳から出土した蓋形埴輪を古墳の模型と共に展示。

展示点数：4点（このうち3点が模型）

(17) 本館映像展示室展「令和6年度 見晴台遺跡 今年の発掘パネル」展

会期：令和6（2024）年11月14日（木）～令和8年2月13日（金）

展示日数：371日

利用者数：28,989人

内容：見晴台遺跡第58次発掘調査の成果を、写真パネルで紹介。

展示点数：パネル16点

(18) 本館映像展示室展「令和7年度 見晴台遺跡 今年の発掘パネル」展

会期：令和8年2月14日（土）～3月31日（火）

展示日数：38日

利用者数：5,081人

内容：見晴台遺跡第59次発掘調査の成果を、パネルで紹介。

展示点数：パネル11点

(19) 本館ロビー展「名古屋市見晴台考古資料館×SDGs」

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：「なごやSDGs街」の参加施設としてパネルを展示した。当館はSDGsの「4 質の高い教育をみんなに」「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」に該当する。昔の人々の遺産を通して、自然との共存や平和の大切さを学んでもらうことを目的とした。

展示点数：パネル2点

(20) 本館ロビー展「イッピン展」

会期：月毎

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：名古屋市内の発掘調査で出土した遺物のなかから、一点を選び毎月紹介。

4月：黒織部 沓茶碗

5月：総織部 鷺文皿

6月：円筒埴輪

7月：土師器 長胴甕

8月：鉄釉陶器瓦

9月：慰問の花瓶

10月：鉄釉瓶子

11月：灰釉陶器 多口瓶

12月：灰釉陶器 瓶類（花文）

1月：土人形「天神様」の型

2月：焼塩壺

3月：弥生土器の文様

(21) 地域連携「桜田中学校美術展」

会期：令和8年1月10日（土）～2月11日（水/祝）

展示日数：27日

利用者数：1,830人

内容：桜田中学校の生徒が制作した美術の優秀作品を展示。

(22) さわってみようコーナー

会期：通年

展示日数：300日

利用者数：25,096人

内容：見晴台遺跡出土の弥生土器片に触れるコーナー。

(23) 体験！はくつつチャレンジ

会期：8月17日（日）～3月31日（火）

展示日数：184日

利用者数：16,095人

内容：土に見立てたスポンジの中から土器の破片を発掘し、土器のパズルを完成させる体験。参加者には当館オリジナルキャラクターのまがりん・たまりんのシールをプレゼントした。

2 教育普及

(1) 見晴台遺跡第59次発掘調査

①調査概要

調査期間：9月17日（水）～11月6日（木）

うち、市民参加は19日間。

市民参加者：146名（うち、小中学生34名）

延べ287名

趣旨：市民に見晴台遺跡の発掘調査に参加・見学を通じて、考古学や埋蔵文化財についての理解や関心を深めることを目的とする。

〔関連事業〕

発掘調査事前説明会

期日：9月12日（金）・9月13日（土）・9月14日（日）

参加者：155名

②現地説明会

期日：10月19日（日）

内容：名古屋市教育委員会文化財保護課職員と市民発掘参加者が令和7年度の調査の全体の様子と最新成果を現地で紹介。

参加者：60名

③調査成果

調査位置：名古屋市南区見晴町

調査原因：学術調査

調査面積：約96㎡

調査主体：名古屋市教育委員会文化財保護課

報告書等：令和8年度中

令和7年度は資料館駐車場の東側に調査区を設定した。過去の発掘調査では、本調査地点周辺で弥生時代の竪穴建物跡が複数見つかった。また、近代の陸軍の高射砲陣地に従軍していた指揮官や兵士の宿舍等があったと考えられる地点でもある。

今年度の調査は、竪穴建物群の広がり、調査区の南で高射砲陣地の中隊事務所（指揮官の事務所）に関する建物跡の確認を目的とした。

調査の結果、調査区の北側では少なくとも5棟の竪穴建物跡を確認した。ただし、後世に大きくかく乱されており、周溝の一部のみの残存であったものが多い。最も残りが良かった竪穴建物跡では、床面直上から弥生時代後期前半の高坏口縁部が出土した。見晴台遺跡では弥生時代後期後半の竪穴建物跡が中心とされてきた中で、先行する時代の遺構を確認できたことは大きな成果である。調査区の南側では、近代の柱穴列や建物の床面等を確認した。真鍮製の小型のハンドルが出土したほか、床面に

塗布されていたコールタールを部分的に確認できた。これらは中隊事務所に関連するものと考えられるが、令和7年度は遺構検出までに留め、令和8年度以降に精査を行うこととした。



調査の様子

(2) 月例映画会

毎月第3土曜日に歴史や文化に関連した映画を上映した。

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者に検温などによる事前の体調管理や、必要に応じたマスクの着用・手指消毒をお願いしたほか、席を離しての会場設営と換気を行った。

また、映画会の参加者には月毎に「見晴台遺跡カード」等をプレゼントした。

参加者数：延460人

4月19日 参加者：43人

四大文明 「エジプト そしてピラミッドが作られた」

5月17日 参加者：38人

四大文明 「メソポタミア それは一粒の麦から始まった」

6月21日 参加者：35人

四大文明 「インダス 謎の民は海を渡った」

7月19日 参加者：39人

四大文明 「謎のマヤ・アンデス 地球文明からのメッセージ」

8月16日 参加者：36人

アニメ 「火垂るの墓」

9月20日 参加者：31人

日本の記録1 「20世紀の幕開け」

10月18日 参加者：30人

日本の記録2 「近代化進む明治日本」

11月15日 参加者：35人

日本の記録3 「第一次大戦と大正デモクラシー」

12月20日 参加者：32人

日本の記録4 「関東大震災」		10月10日	名古屋市教育委員会文化財保護課	16人
1月17日 参加者：42人		10月11日	しだみゅー古墳散策	
日本の記録5 「昭和恐慌と軍国主義の台頭」			南区の古墳と見晴台遺跡	15人
2月21日 参加者：54人		10月11日	名古屋市教育委員会文化財保護課	22人
日本の記録6 「満州国」に見た夢」		10月12日	名古屋市教育委員会文化財保護課	18人
3月21日 参加者：45人		10月13日	名古屋市教育委員会文化財保護課	19人
日本の記録7 「軍国ニッポンへの行進」		10月16日	名古屋市教育委員会文化財保護課	13人
		10月17日	名古屋市教育委員会文化財保護課	13人
		10月18日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
		10月18日	NHK 文化センター	
			ブラタモリ案内人と歩く	19人
		10月19日	名古屋市教育委員会文化財保護課	14人
		10月19日	名古屋市教育委員会文化財保護課	60人
		10月23日	名古屋市教育委員会文化財保護課	12人
		10月23日	笠寺幼稚園	210人
		10月24日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
		10月25日	名古屋市教育委員会文化財保護課	13人
		10月26日	名古屋市教育委員会文化財保護課	11人
		11月5日	前日の会	9人
		11月8日	デイサービス アイナ	21人
		11月11日	柴田学区公民会推進協会	9人
		11月13日	守山生涯学習センター	24人
		11月18日	桜田中学校7・8組(南区)	9人
		11月27日	桑名市立光風中学校2年生	18人
		12月7日	名古屋市職員労働組合東区役所 分会女性部	17人
		1月16日	本星崎保育園	20人
		1月21日	猪子石中学校1年生(名東区)	6人
		1月29日	名古屋大学	8人
		1月30日	鎌倉台中学校2年生(緑区)	3人
		2月11日	大正大学文学部歴史学科	5人
		2月18日	名古屋市教育振興会 南区社会科研究部会	19人
		2月19日	名古屋市西生涯学習センター	22人
		2月20日	鯉城学園	29人
		2月20日	デイサービス まつかげ	16人
		2月25日	鯉城学園	33人
		3月5日	南りんごこども園	21人
		3月12日	日比野中学校2年生(熱田区)	4人
		3月12日	サロン「転ばない人」	12人
		3月26日	名古屋南ケアセンターそよ風	14人
			※「名古屋市教育委員会文化財保護課」の詳細は下記の通り。	
(3) 団体利用(施設見学や展示解説など)				
4月19日	ブラカサデラ	53人		
4月30日	長根台小学校6年生(緑区)	92人		
4月30日	菊住小学校6年生(南区)	91人		
5月1日	桜小学校4・5・6年生(南区)	148人		
5月2日	春日野小学校6年生(南区)	72人		
5月9日	野並小学校6年生(天白区)	88人		
5月13日	南歴歩マイスター	28人		
5月21日	よびつぎこども園	44人		
5月22日	笠東小学校6年生(南区)	53人		
5月22日	よびつぎこども園	44人		
5月28日	明治大学博物館友の会	22人		
5月30日	チームKステラビィ 就職塾	11人		
6月13日	桃山小学校6年生(緑区)	77人		
6月18日	笠寺小学校6年生(南区)	73人		
6月25日	平子小学校6年生(緑区)	76人		
7月21日	名古屋市教育委員会文化財保護課	10人		
8月5日	セントラル内田橋	10人		
9月12日	名古屋市教育委員会文化財保護課	42人		
9月13日	名古屋市教育委員会文化財保護課	49人		
9月14日	名古屋市教育委員会文化財保護課	53人		
9月20日	倶楽部デイ MEDOC	7人		
9月24日	シルバークレッジ(名古屋を知らう会)	5人		
9月25日	健康ウォーククラブ	40人		
9月27日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人		
9月27日	社会福祉法人 ニコニコハウス デイサービス	20人		
9月28日	名古屋市教育委員会文化財保護課	9人		
10月2日	名古屋市教育委員会文化財保護課	17人		
10月3日	名古屋市教育委員会文化財保護課	17人		
10月4日	名古屋市教育委員会文化財保護課	17人		
10月4日	あおぞら歴史教室	21人		
10月5日	名古屋市教育委員会文化財保護課	18人		
10月7日	東丘小学校1年生(緑区)	120人		
10月9日	名古屋市教育委員会文化財保護課	12人		

7月21日…見晴台遺跡第58次発掘調査成果報告会の参加人数。

9月12日～14日…見晴台遺跡第59次発掘調査の事前説明会の参加人数

9月27日～10月26日…見晴台遺跡第59次発掘調査の市民発掘参加人数。ただし、10月19日の60人の参加は見晴台遺跡第59次発掘調査現地説明会の参加人数。

(4) 職場訪問

10月31日	羽島市立中央中学校2年生	4人
1月15日	本城中学校1年生(南区)	6人
1月21日	東陵中学校1年生(緑区)	10人

(5) 刊行物

『令和7年度 名古屋市見晴台考古資料館 展示の記録』
A4版 14頁 200部

「見晴台遺跡カード」

全16種類 400枚

「名古屋市南区見晴町 見晴台遺跡」

A5版 14頁 1,200部

(6) 講演会

●講演会「軍都豊橋に残る戦争遺跡」

期日：6月14日(土)

主催：豊橋市美術博物館

講師：伊藤厚史(当館学芸員。講師として派遣)

●なごや学マイスター講座 知ろう！伝えよう！古代の魅力～「歴史の里マイスター」養成講座～「第3回触れて感じよう！古代のロマン ～見晴台考古資料館 市内出土の遺物展示の見学～」

期日：11月13日(木)

主催：守山生涯学習センター

共催：見晴台考古資料館

講師：伊藤厚史(当館学芸員)

●講座「あいちの遺跡をまなぼう 終戦80年 戦争遺跡からみた名古屋のまち」「高射砲陣地跡について」

期日：令和8年2月7日(土)

主催：愛知県生涯学習推進センター

会場：愛知県教育会館

講師：伊藤厚史(当館学芸員。講師として派遣)

●〈なごや学〉遺跡を学んで感じる！なごやの魅力「南

区にある弥生時代後期の環濠集落～見晴台遺跡探訪～」

期日：令和8年2月19日(木)

主催：西生涯学習センター

共催：見晴台考古資料館

講師：伊藤厚史(当館学芸員)

(7) なごやSDGsスタンプラリー

期日：7月19日(土)～8月31日(日)

主催：「なごや環境大学」実行委員会事務局

内容：SDGsを学ぶことができる施設として名古屋市内外で展開している「SDGsフィールド」を周遊するスタンプラリー。当館も対象施設の一つとして協力した。

参加者：228人

3 地域連携

(1) ウォーキング

●まち歩き「第6回 プラカサデラ」

期日：4月19日(土)

主催：笠寺学区公民会

共催：見晴台考古資料館

講師：伊藤厚史(当館学芸員)

参加者：53名

●まち歩き「終戦80年 名古屋城もうひとつの顔」

期日：5月29日(木)

主催：中部経済同友会

講師：伊藤厚史(当館学芸員。講師として派遣)

●巡検「豊橋公園内を歩く」

期日：6月28日(土)

主催：豊橋市美術博物館

講師：伊藤厚史(当館学芸員。講師として派遣)

●まち歩き「戦争のつめ痕めぐり」

期日：11月29日(土)

主催：愛知・名古屋 戦争に関する資料館

講師：伊藤厚史(当館学芸員。講師として派遣)

●「学芸員と巡る笠寺ウォーキングツアー～名古屋の戦争の歴史を学ぶ～」

期日：12月7日(日)

主催：名古屋市職員労働組合女性部

講師：伊藤厚史(当館学芸員)

※団体利用として来館。

●まち歩き「まちなかに残る戦争のつめ痕と震災の記憶をたどる」

期日：令和8年2月14日（土）

主催：愛知県生涯学習推進センター

講師：伊藤厚史（当館学芸員。講師として派遣）

（2）出張展示「見晴台遺跡に暮らした人々」

会期：5月4日（日）～5月30日（金）

会場：南図書館

内容：見晴台遺跡や高蔵遺跡の出土品を展示。

展示点数：13点

（3）あいち朝日遺跡ミュージアム「収穫祭」

期日：11月16日（日）

主催：あいち朝日遺跡ミュージアム

会場：あいち朝日遺跡ミュージアム

内容：会場にて小学生以下を対象に「体験！はくつつチャレンジ」を行った。参加者には当館オリジナルキャラクターのまがりん・たまりんのシールをプレゼントした。さらに、見晴台遺跡出土の弥生土器に触れてもらう体験も行った。

参加者：89名



「収穫祭」での「体験！はくつつチャレンジ」の様子

（4）「弥生の御朱印巡り」

開始日：令和5（2023）年10月7日（土）

企画：鳥取県

内容：弥生時代関連39遺跡と42施設を巡り、各地の御朱印を取得するイベントにて、参加施設の一つとして協力した。見晴台遺跡の御朱印を考案し、参加者に配布した。

配布枚数：164枚（令和7年度分）

（5）南区民まつり2026冬

日時：令和8年2月1日（日）

主催：南区区民まつり実行委員会

会場：日本ガイシ スポーツプラザ

内容：会場にてポスターを掲示したほか、チラシ・パンフレットを配布した。また、小学生以下を対象に「ドキ！ドキ！土器釣りゲーム」を、その後「体験！はくつつチャレンジ」も行った。

参加者：382人

（6）見晴台考古資料館梅まつり

日時：2月28日（土）～3月1日（日）

主催：見晴台考古資料館梅まつり実行委員会

後援：南区役所・南土木事務所

運営：株式会社エイティーズ

参加者：192人

内容：梅まつりに開催するイベントの一つとして協力した。「学芸員と考古資料館を探検してみよう！」にて、当館学芸員によるバックヤード探検を行った。あわせて梅まつり限定の特別展示を行った。また、子ども向けのイベントとして映画の上映や、「体験！はくつつチャレンジ」を開催した。

Ⅱ 利用状況

1 利用者数など

(1) 展示会別利用者数

会場	展示会名	会期	日数	入場者数	一日平均
本館展示室	常設展「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」	通年	300日	25,096人	84人
	第1回企画展「じょーもん・弥生にコーフン時代」展 ※1	3月29日～6月22日	72日	6,694人	93人
	第2回企画展「SDGs 遺跡から自然との共存・平和の大切さを学ぼう」展	6月29日～9月15日	67日	3,839人	57人
	第3回企画展「時間旅行 なごや2万年」展	9月21日～1月18日	96日	8,016人	84人
	第4回企画展「2万年、人が暮らすまち～中区～」展	1月25日～3月22日	48日	5,116人	107人
本館映像展示室	「大曲輪人のご近所さん」展	通年	300日	25,096人	84人
	「桜神社古墳の埴輪」展	通年	300日	25,096人	84人
	「令和6年度 見晴台遺跡今年の発掘パネル」展 ※2	11月14日～2月13日	371日	28,989人	78人
	「令和7年度 見晴台遺跡今年の発掘パネル」展	2月14日～3月31日	38日	5,081人	134人
本館ロビー	イッピン展 ※3	月毎	300日	25,096人	84人
	「天白区の石器」展 ※4	3月29日～3月31日	302日	25,418人	84人
	「南区の遺跡分布図とハザードマップ」展 ※5	3月29日～6月22日	72日	6,694人	93人
	「名古屋城三の丸遺跡 ースピリチュアルな異世界ー」展	6月29日～12月28日	154日	11,210人	73人
	「平和の大切さを学ぼう」展	6月29日～12月28日	154日	11,210人	73人
	「癒しの土人形」展	1月10日～3月31日	67日	6,989人	104人
	企画展関連「2万年、ひとが暮らすまち～中区～」展	2月15日～3月22日	31日	3,982人	128人
	「梅まつり 特別陳列」	2月28日～3月1日	2日	1,569人	785人
	「名古屋市見晴台考古資料館×SDGs」	通年	300日	25,096人	84人
住居跡観察舎	パネル展「原始・古代の住居」	通年	300日	25,096人	84人
	パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」	通年	300日	25,096人	84人

※1・4・5 「じょーもん・弥生にコーフン時代」展・「天白区の石器」展・「南区の遺跡分布図とハザードマップ」展は令和7年3月29日より継続して開催したため、会期全体の日数・入場者数・一日平均を提示した。なお、「天白区の石器」展は令和8年1月10日からは映像展示室で継続して展示した。

※2 「令和6年度 見晴台遺跡今年の発掘パネル」展は令和6年11月14日より継続して開催したため、会期全体の日数・入場者数・一日平均を提示した。

※3 イッピン展は本館ロビーにて開催。毎月一点を紹介した。

(2) 月別利用者数

月	開館日数	入館者数			一日平均	団体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人員
年 月	日	人	人	人	人	件	人
7 4	25	1,823	1,163	2,986	119	3	236
5	26	1,041	1,175	2,216	85	9	510
6	24	819	673	1,492	62	3	226
7	27	930	298	1,228	45	1	10
8	26	1,492	316	1,808	70	1	10
9	25	1,399	206	1,605	64	12	240
10	26	2,529	1,224	3,753	144	24	711
11	26	1,361	386	1,747	67	6	90
12	23	813	195	1,008	44	1	17
8 1	23	1,099	340	1,439	63	6	53
2	24	2,167	573	2,740	114	6	124
3	25	2,543	531	3,074	123	4	51
合計	300	18,016	7,080	25,096	84	76	2,278

2 資料の借用

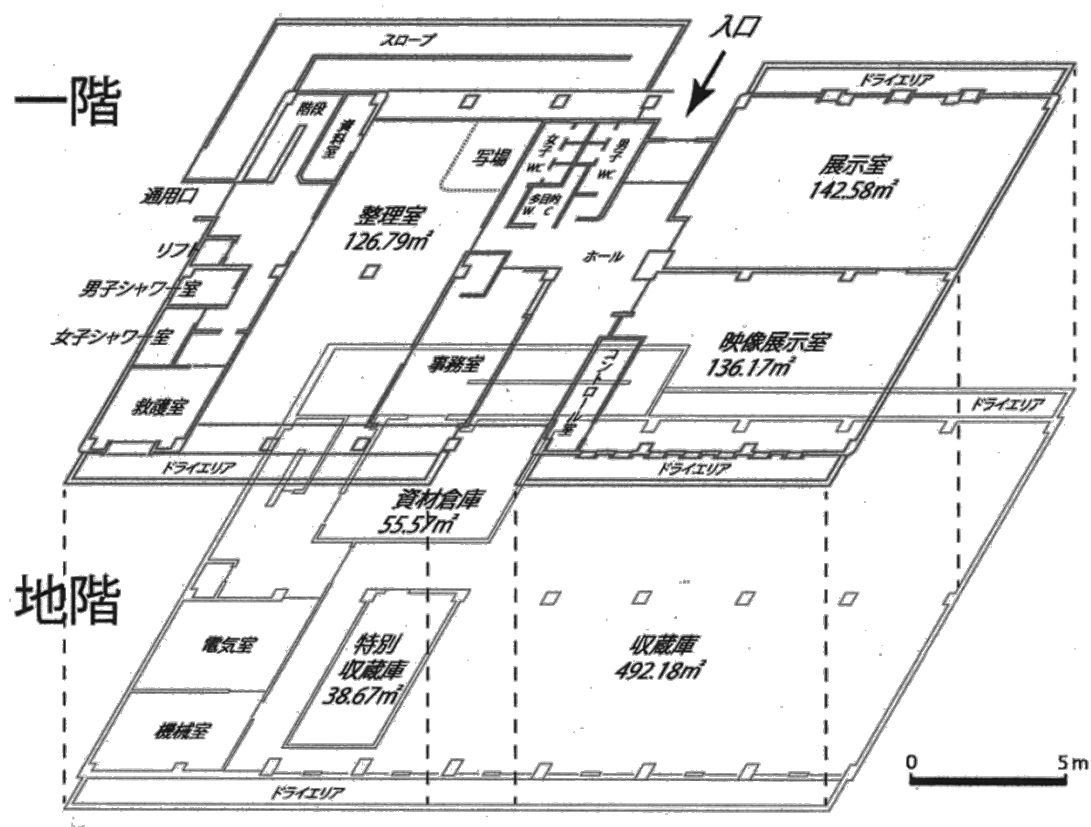
年間借用 1 件 1 点 名古屋市博物館

Ⅲ 施設の概要

項 目	内 容
条 例	名古屋市見晴台考古資料館条例（昭和54（1979）年7月18日条例39号）
名 称	名古屋市見晴台考古資料館
設 置 場 所	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
開館年月日	昭和54年10月11日
博物館登録	昭和55（1980）年1月25日（登録第8号）
建 物	公園使用許可面積1,902㎡

(1) 本館

項 目	内 容
構 造	鉄筋コンクリート造地上1階・地下1階
建築面積	672㎡
延床面積	1,381㎡（1階658㎡、地階699㎡、中2階24㎡） 展示室142.58㎡、映像展示室136.17㎡、収蔵庫492.18㎡、特別収蔵庫38.67㎡



見晴台考古資料館 本館 各室配置図

(2) 分室（西館）

項 目	内 容
構 造	軽量鉄骨造平屋建
建築面積	148㎡
概 要	遺物整理作業展示室として、平成8（1996）年から使用開始。

公園内の関連施設

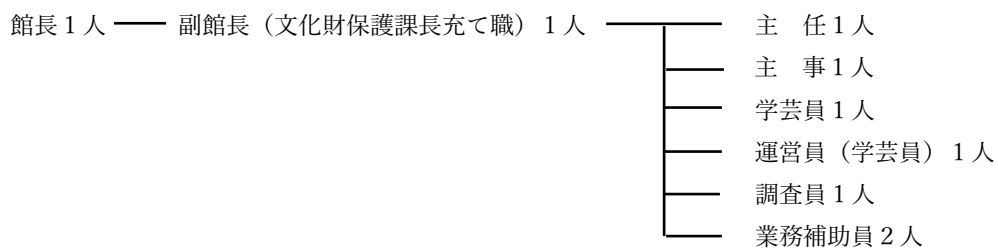
見晴台考古資料館のある笠寺公園は、「遺跡のある公園」として名古屋市緑政土木局によって整備され、遺跡にかかわるいくつかの施設が設置されている。

施設名	概要	構造	備考
住居跡観察舎	発掘調査によって出土した状態が見学できる施設。内部には遺構の型取りによる原寸大の住居跡の複製を設置し、住居跡のうち1軒を推定復元。昭和63（1988）年6月15日公開。 復元住居は経年変化で傾きがひどくなったため、平成25（2013）年10月に取り壊し。平成26（2014）	鉄骨造平屋建 面積365㎡	名古屋市博物館の「復元 竪穴住居」を移設するため、令和6年2月末に復元住居を撤去。同年3月末に名古屋市博物館の竪穴住居の復元模型を設置。翌年1月末に移設作業終了。

	年10月市民参加による「竪穴式住居復元プロジェクト」にて再構築。		
濠再現コーナー	資料館南側の弥生時代の濠跡が道路によって寸断されていた地点に、遺構保存のための土留め壁を兼ねて、濠の断面を原寸大に復元。平成元（1989）年4月5日公開。	コンクリート・モルタル・表面擬土・アスファルト	濠の大きさは幅およそ5m、深さおよそ4m
弥生の森	弥生時代の生活に関係の深い樹木を、都市緑化の推進と弥生時代の学習に役立てるために植栽。平成元年4月5日公開。		樹木（141本）の種類はヤマモモ・スダジイなど

Ⅳ 組 織

組 織



名古屋市見晴台考古資料館 年報43
令和7（2025）年度事業報告

編集 名古屋市見晴台考古資料館
発行 名古屋市見晴台考古資料館
発行 令和8年9月1日
